



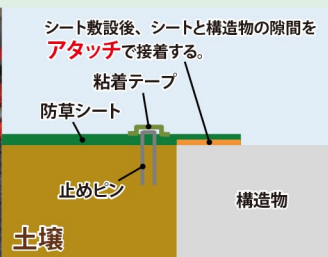
施工手順・参考資料はこちら

防草シート専用シーリング材

アタッチ



コンクリート構造物へ

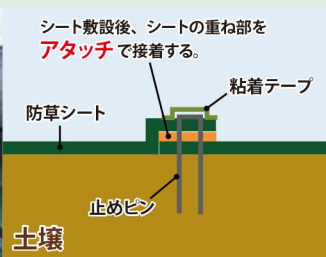


シート敷設後、シートと構造物の隙間をアタッチで接着する。

粘着テープ
防草シート
止めピン
構造物



シート重ね部へ



シート敷設後、シートの重ね部をアタッチで接着する。

粘着テープ
防草シート
止めピン
土壌

特長

柔軟性があり小さな隙間を埋めるのに最適

伸び、接着性、耐久性、耐水性に優れています。無酢酸型で臭いがほとんどありません。

シート重ね部と構造物の隙間からの雑草防止

シートと構造物などの隙間や、シート重ね部を接着することで、光侵入による雑草発生、風侵入によるシート捲れを防止します。

施工概要

① シート敷設後、シート際の砂埃などを除去してください。砂埃が付着している場合、接着不良になります。

※雨天時などシートが濡れている場合も接着不良になります。乾いてからご使用ください。

※コンクリートやアスファルト構造物の劣化が進んでいる場合は、数量を割増してください。

② シート際をシーリング材“アタッチ”でシーリングし、圧着してください。

※シーリングは、剥離する可能性があるため最後の工程とし、作業後はシートの上を歩かないようにしてください。

規格

容量：333mℓ (使用目安：防草シート施工時 約7m/本)

※到着後4ヵ月以内に使用してください。



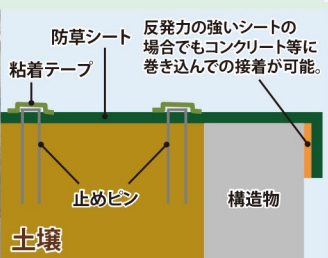
施工手順・参考資料はこちら

防草シート専用接着剤

ウレタッチ



構造物際の接着

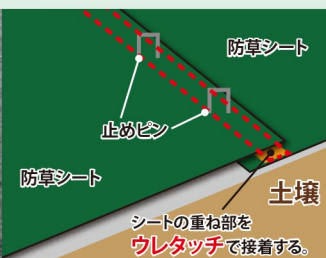


防草シート
粘着テープ
止めピン
構造物

反発力の強いシートの場合でもコンクリート等に巻き込んでの接着が可能。



シート重ね部の接着



防草シート
止めピン
防草シート
土壌
シートの重ね部をウレタッチで接着する。

特長

ハードタイプシートの際処理に最適

初期接着性(タック)があり、接着力が強いので、巻き癖がついて反り返るシートの接着や硬めのシートの立ち面の接着に適しています。

シート重ね部と構造物の隙間からの雑草防止

シートとコンクリート構造物などの隙間や、シート重ね部を接着することで、光侵入による雑草発生、風侵入によるシート捲れを防止します。

施工概要

① シート敷設後、シート際の砂埃を除去してください。砂埃が付着している場合、接着不良になります。

※雨天時などシートが濡れている場合も接着不良になります。乾いてからご使用ください。

② シート際に“ウレタッチ”を塗布し、接着剤が薄く伸びるように面状に押し上げてください。その後、シートと被着体を離します。

③ 溶剤を揮発させるために静置してください。(接着剤を半乾き状態にします。)

溶剤が揮発しにくい状態で静置する場合、下記の待ち時間より約10分延長してください。

■待ち時間(目安) …… 夏季：約10分 冬季：約20分

④ シートを均等に圧着します。シートの浮きが見られた場合、再度しばらく静置させた後、改めて圧着してください。

規格

容量：500mℓ (使用目安：防草シート施工時 約15m/本)

※到着後2ヵ月以内に使用してください。